



阿知須小だより

よさが輝く学校～知・徳・体の調和の取れた教育の推進～
地域と共にある学校～コミュニティ・スクール8年目～



令和元年7月19日 No.5



1学期の終業式を迎えて



「平成」から「令和」に変わった1学期。保護者や地域の方々の御協力と御支援により、児童に関する大きな事故や事件がなく終業式を迎えることができ、とてもうれしく思っています。

さて、1学期の始業式では、自分の周りにいる人とたくさん関わり、「友達のよさを見付けよう、友達に自分のよさを見付けてもらおう」ということを児童に伝えました。学校では、児童一人ひとりのよさを認め、児童の自己肯定感を高めるという意識で教育活動を行い、阿知須小学校全体のよさ、そして、それぞれの児童のよさが発揮された1学期となりました。

次に紹介する「子ども」の詩は、アメリカ合衆国の教育学者であるドロシー・ロー・ノルト博士によるものです。どこかで見たり聞いたりしたことがあると思われた方も多いのではないのでしょうか。

個人懇談で、お子様の学校の様子をお伝えしましたが、それをもとにした親子の会話の中で、または、子どもたちと過ごす時間が長くなる夏休み中に、心に留めておきたいものです。

「子ども」

ドロシー・ロー・ノルト作

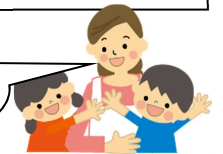
- 批判ばかりされた子どもは、非難することを覚える。
- 殴られて大きくなった子どもは、力に頼ることを覚える。
- 笑いものにされた子どもは、ものを言わずにいることを覚える。
- 皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心の持ち主となる。
- しかし、激励を受けた子どもは、自信を覚える。
- 寛容に出合った子どもは、忍耐を覚える。
- 賞賛を受けた子どもは、評価することを覚える。
- フェアプレーを経験した子どもは、公正を覚える。
- 友情を知る子どもは、親切を覚える。
- 安心を経験した子どもは、信頼を覚える。
- 可愛がられ抱きしめられた子どもは、
世界中の愛情を感じ取ることを覚える。

「あゆみ」を成長につなげて

学期末ごとに、学校での学習や行動の様子を「あゆみ」でお知らせします。これは、担任がお子様の頑張りや成長の様子を保護者にお伝えし、2学期に向けて、ステップアップするための資料です。

よさを認め、反省すべき点は、どうすればよいかを一緒に話し合ってみてください。そして、夏休みの過ごし方に生かし、2学期への更なる成長へつなげていきましょう。

1学期、よくがんばったね。2学期も楽しみだね。



いよいよ夏休みが始まります。健康で安全に生活することができるよう、学校では次のことについて指導しています。

1 交通事故に遭わないために

- ・飛び出しをしない。
- ・横断歩道では十分に左右確認をする。
- ・自転車に乗る時は必ずヘルメットを着用する。

2 事件・事故に巻き込まれないために

- ・用事もないのに店に行かない。
- ・ゲームセンター等の遊技場に子どもだけで行かない。
- ・18時帰宅を守る。
- ・子どもだけで夜間の外出をしない。
- ・人気のない場所や危険な場所に近寄らない。



御家庭でもお子様の様子を見ていただき、声かけをお願いします。何か気になることがありましたら、学校へもお知らせください。よろしくをお願いします。(生徒指導主任)